

Trusted

Resource for Regulation and
Professional Services.

International Administration of the CPA Examination

2013 NASBA Regional Meetings
Colleen K. Conrad, CPA

The logo for the National Association of State Boards of Accountancy (NASBA), featuring the acronym "NASBA" in a large, teal, serif font.

What We Will Discuss Today

- Some background / recent changes
- Where we are heading
- A few statistics
- How you can help

- International testing began 8/1/2011
- Candidates apply through one of the 44 participating jurisdictions
- Testing schedule mirrors domestic schedule (as of 1/2013)
- International testing allowed for U.S. citizens and permanent residents living abroad, as well as citizens of testing and specified neighboring countries

- Japan
- Middle East (Bahrain, Kuwait, Lebanon, United Arab Emirates (UAE))
 - Also open to citizens, permanent and long-term residents of Egypt, Qatar, Oman, Saudi Arabia, Jordan and Yemen
- Brazil
 - Also open to citizens, permanent and long-term residents of Argentina, Bolivia, Chile, Columbia, Ecuador, French Guiana, Guyana, Paraguay, Peru, Suriname, Uruguay and Venezuela

- Candidate volume
- Legal and / or political obstacles
- Security threats
 - Physical security
 - Intellectual property security
- Existence of established Prometric Test Centers

- Saudi Arabia
- Germany (as entrée to EU)
- IQEX Countries

Through 5/15/2013:

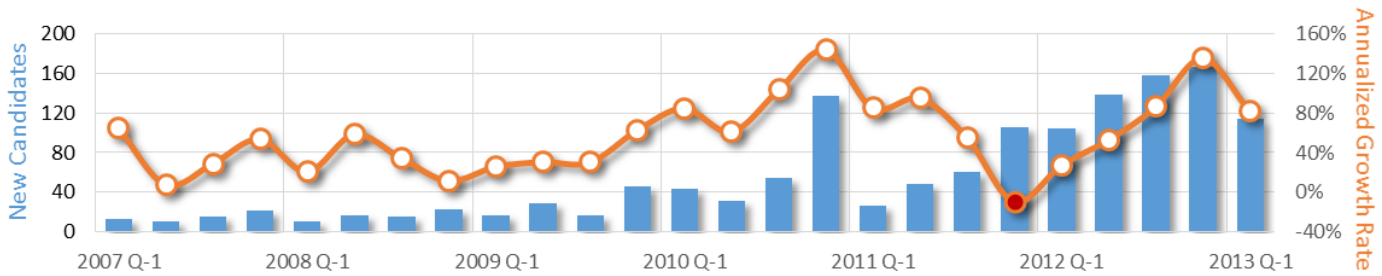
- 4,800 unique candidates
- 16,000 sections administered
- Over 1,000 candidates already passed 4 parts

New Candidates / Quarter

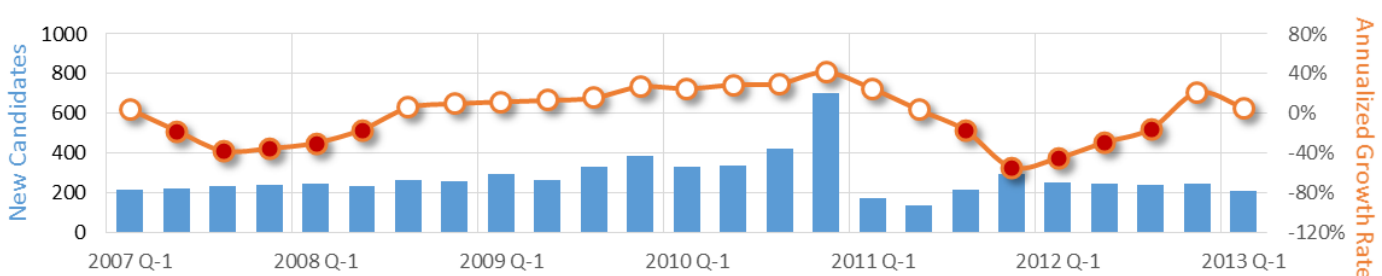
Trusted

Resource for Regulation and Professional Services.

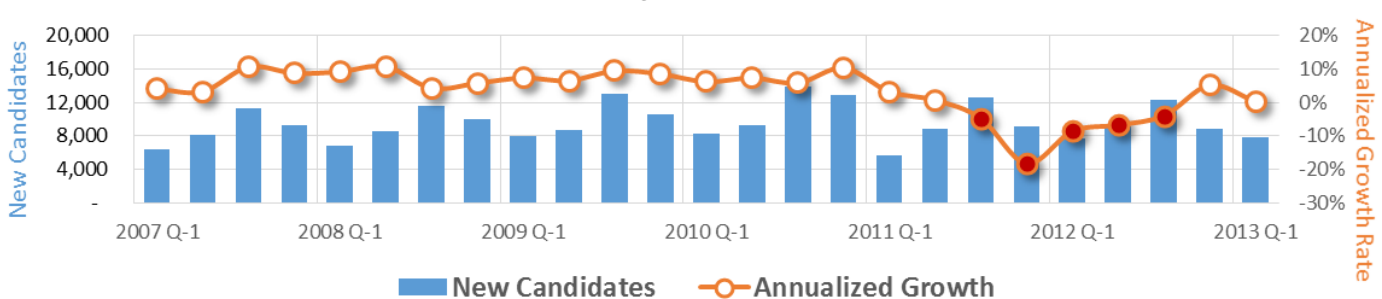
New Candidates per Quarter: **China**



New Candidates per Quarter: **Japan**



New Candidates per Quarter: **Domestic**



- Tom Kenny (NASBA) and Ophir Busel (AICPA) leading the charge
- Localized media relations
- University and review course provider outreach
 - Web chats, meetings, print and web distribution
- Japan visit
- Multiple webinars in the Middle East

日本におけるU.S.C.P.A グローバル人材たるために

コリン・コンラッド



コリン・コンラッド
(Colleen Conroy)
全米州政府会計士協会 エグゼクティブ
バイスプレジデント兼COO

米国公認会計士協会(American Institute of Certified Public Accountants: AICPA)および全米州政府会計士協会(Federal Association of State Boards of Accountancy: NASBA)が、日本における米国公認会計士(C.P.A.)試験の受験者を対象に行った調査では、「日本人受験者の約8割は既にU.S.C.P.A.試験の専門知識を持っている」と説明した。

一方で、回答者の6割以上が、自身のスキルアップまたはキャリアの選択肢を広げるために、U.S.C.P.A.試験を受験していることも明らかにされた。

すなわち、U.S.C.P.A.試験は、自身の専門的スキルや能力を向上させ、会社内でのキャリアアップや昇進へのチャンスとして認知されていると見える。

実際、U.S.C.P.A.は、財務および会計の知識やスキルはもろく、英語による職務遂行能力とプロフェッショナルなビジネスマインドを有しているという点を重視的に証明する資格でもある。

しかし、「二重国籍しなくてもよい」というのは、U.S.C.P.A.試験は、米国公認会計士という資格取得に必要な「E」のEducation(教育: Examination)試験、Experience(経験)の1つの要件に過ぎないという点である。つまり、U.S.C.P.A.という資格を取得するためには、U.S.C.P.A.試験に合格するだけでは十分ではないという点である。

先述の要件のうちU.S.C.P.A.試験に合格することは、米国のすべての州や管轄区域で必須要件となっている。一方「教育」と「経験」の要件は地域によって異なる場合があり、通常は、特定の会計単位数と1年以上の実務経験。そして120〜150時間の教育単位数が必要とされている。

4科目の試験(計14時間に合計)の後「教育」と「経験」の要件を達成して、初めてU.S.C.P.A.という資格を取得することができるのである。

U.S.C.P.A.は、このような厳しい審査試験、資格要件と倫理コードに基付けられた米国のトップの公認会計士資格であり、財務・ビジネスの専門資格の最上位として、投資家や企業の経営陣からの評価も高い。同様のにも権威のある資格といえる。

また、U.S.C.P.A.という資格は、より世界的な立場でのキャリアアップ、海外勤務、グローバル企業への転職等のチャンスをもたらしてくれる可能性もある。企業のグローバル化が進むなか、ますます意欲のある資格とみなされるであろう。

前述の調査では、日本人受験者前年の調査では、日本入受験者の約8割が将来的に海外で働きたいと考えていることが明らかとなったが、U.S.C.P.A.は、海外で働く者がもたらす資格であると私は信じている。

最後に、日本におけるU.S.C.P.A.の受験者と資格保有者に期待していることがある。それは、米国の同様、公認会計士職における倫理的なりきりであったほしいという点。そしてビジネスや投資の分野において、会計・財務の専門家としての積極的な提供している。皆さんのグローバルな活躍を期待している。

カンパニースタッフ、全米100以上の企業で勤務経験があるU.S.C.P.A.のエキスパート、バイスプレジデント兼COOを務める。CPA試験、経理、税務、監査、その他ファイナンスやITスキルに関する豊富な知識と経験に基づき、国内外の企業や組織に、U.S.C.P.A.の価値を伝える。また、U.S.C.P.A.の試験や受験に関する専門知識や立派な資格を保持している。U.S.C.P.A.の試験や受験に関する専門知識や立派な資格を保持している。U.S.C.P.A.の試験や受験に関する専門知識や立派な資格を保持している。

- Make sure your jurisdiction is on the Accountancy Licensing Database (ALD) and CPAVerify
- Work with ALD Committee and Exams Team with initiative to link Gateway candidates to ALD / CPAVerify

Trusted

Resource for Regulation and
Professional Services.

Thank You